

第 4 号  
昭和47年 2 月 1 日 発行  
豊中・サンマテオ  
姉妹都市協会  
事務局 豊中市企画部  
企画課(54)1121



# 閲覧用

## 親善訪問団サンマテオ市を訪問！

昭和38年10月にサンマテオ市と姉妹都市提携以来はじめての親善訪問団43名が  
去る10月17日、サンマテオ市を訪問しました。

写真は、出発前、羽田空港に整列した一行

# 姉妹都市親善訪問記

## 市職員班一同

—第1日目—

### 1. 出 発

豊中市の市制35周年を記念して計画されたサンマテオ市訪問親善使節団が、市村姉妹都市協会長を団長として、総数43名の団員で組織され、いよいよ親善旅行の門出に就くことになった。市長代理の下村助役の歓送の挨拶を受けて大阪空港を飛び立ったのは、昭和46年10月17日午後0時30分であった。

羽田空港でJA002便に乗り換え、一路目的地サンフランシスコへ向けて飛び立った。出国手続は極めて簡単で、ナイフの類を持っていないか、確認された程度であった。

DC8-62型で新式のジャンボではないが座席は横に3席2席の計5席、乗客約180名、乗員は操縦士関係を含めて11名との事であった。

離陸後間もなく飲物が出た。アルコール類は有料であるが、ソフトドリンク類は無料である。更に約2時間後に夕食が出た。なかなか、豪華な御馳走である。

出発後間もなく夜となり、何一つ見るものもなく、聞くものもなく、明日に備えて眠れば眠っておくべきだと思うが、馴れない旅のこともあり団員一同中々眠れないようであった。

日本時間24時頃そろそろ東の空が白み始め、朝食が出る。朝食後しばらくして着陸態勢に入り徐々に高度を下げ始め、やがて待望のアメリカ大陸の西端上空に達し、サンフランシスコの南東から西北に向かって着陸することとなった。機内から見るサンフランシスコ湾の青く澄みきった美しさにみせられながらサンマテオ市或はフォスターシティはどこかと一生懸命窓の外を眺めたが、座が窓ぎわでなかったため、残念ながら分らなかった。

### 2. アメリカへ到着

いよいよ現地時間17日9時40分、(東京時間18日1時40分)、予定より40分早く、サンフランシスコ空港に到着した。サンフランシスコ湾に突き出たように広がっている空港の広大さが非常に印象的であった。

空港にはサンマテオの姉妹都市協会から、ジョン湯本氏、池田早苗氏、サンマテオ氏の豊中歓迎委員長メアリーアン

デーソン夫人外多数の方々の出迎えを受けたが、聞けば、ジム・中田氏が昨日心臓発作のため入院され、急遽湯本氏が代理されたとの事である。特別借上のバスで、湯本氏の案内を聞きながらサンマテオ市へ向う。

昼前、サンマテオ市のロイヤル・コーチ・ホテルに到着する。古いイギリス風の城の様に作られた、なかなか古風であるが溢い豪華なホテルである。

ホテルでは、姉妹都市協会長リー氏、池田早苗氏、ジョン湯本氏、大岩氏夫人、中田氏夫人、ベレスフォード小学校バレーボールチームのテリー、ウエンディ、クリスタとカールソン団長夫妻、エリソン夫人、盆栽クラブの竹盛会



ロイヤル・コーチホテルにてリー氏、市村会長、下村隆子嬢

長以下会員多数の出迎えを受けた。また、盆栽クラブの方々からは、ボックス・ランチと、果物一袋、缶ジュース一缶、ケネディ・コイン一個、航空郵便用のエアログラム封筒等を、ベレスフォードのテリーとウエンディの手を通じ、我々団員の一人一人に手渡していただいた。

### 3. 日本庭園でのティー・パーティー

昼食後、約1時間程休憩の後、市主催のティー・パーティーに出席した。会場は中央公園の中にある日本庭園の隣のセントラル・レクリエーション・センターである。マレイ助役、ミュラー管理人、アーチボルド警察署長及び市の歓迎委員アンダーソン夫人が出席された。パーティーには、飲物と色々な料理、菓子類があり、中には日本式のまんじゅうまで用意されていた。美しい制服を着たガール・スカウトの様な女子学生がサービスに当って呉れた。

助役、管理人、署長から丁寧な歓迎の言葉を丁載し、市村会長から答礼の挨拶があった。団員の下村隆子さんの流暢な通訳で、終始なごやかで、ユーモアたっぷりの挨拶があり、出席の方々の親切な暖かいもてなしと友情に満ちた歓迎に、旅の疲れも忘れ非常に楽しいパーティであった。

隣りにある日本庭園も見学したが、豊中市から寄贈した五重の塔を始め、泉水、その上にかかっている小さな太鼓橋、茶室等があり、こんもりとした植込みと共に、中々見事なもので、市民の方々の入園者も相当あり、中々好評のようであった。



日本庭園にて盆栽クラブの人達と

公園に隣接して、約12階位のガラス張りの豪華な建物が、恵まれた老人のための老人ホームであるとの事であった。内部は知る由もないが、実にスマートな外観から見て内部もさぞ充実していることであろうとの推察は充分できる。

#### 4. レストラン末広にて

夜は6時から日系の方々、並びに盆栽クラブの主催による晩餐会が、サンフランシスコの料亭末広で開催され、我々は日系の方々の自動車に分乗して出発する。

会長竹盛氏の司会に始まり、池田早苗氏の御挨拶があり、双方歌に踊りに時間の経つのも忘れて友好を温めあった。一昨年サンマテオ市の盆栽クラブ一行が来豊された時には我々は大したこともしなかったのに、このような盛大な歓迎をして下さったことに対して全く感謝の言葉もなく一同感激の極みであった。サンマテオ在住の日系人の中には、民謡や詩吟や舞踊のお師匠さん方が数名おられ、我々の素人芸と違って、素晴らしいプロの演芸に圧倒されどうしであった。

また我々は日系の方達が米国人でありながら、祖先達の

持っていた日本古来の伝統的芸術を保存しようと努力されていることについて全く頭の下がる思いであった。日本で段々と忘れられ、或いは崩れ去って行きつつある日本の良き伝統的芸術が、案外海外で完全に保存されているのではないかと云う感じがしてならなかった。

時間もいつの間にか10時を過ぎて、我々はまた、盆栽クラブの会員の方々の車に分乗してホテルまで送っていただいた。

以上我々は到着第1日目の日程を無事終了し、やっと自由時間となり、約30時間振りに睡眠することができることとなったのである。

到着の第1日に我々が受けた印象は、土地が広大であること、木や草の緑の美しいこと、道路が広く街路樹が素晴らしいこと、住宅の敷地がゆっくりと取ってあること、空港が広く停留している航空機の数の多いこと、空（大気）が澄んでいること、自動車が生活必需品であり、自動車なくしては満足な日常生活は営めないこと、更にサンマテオの市民の方々の白人、日系人を通じての暖かいご接待にあづかった事等であった。

#### —第2日目—

昨日は時差の関係による睡眠不足（約30時間以上眠れなかったこと）と、早く食事の時間が来た上に、食べ馴れない食物が多かった事等で全く疲労していた為、モーニング・コールのホテルの電話があるまで全く何も知らないでぐっすり寝こんでしまった。

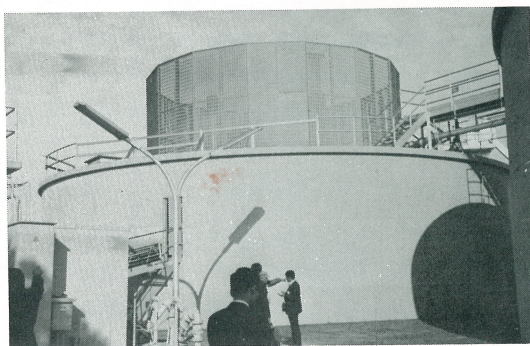
今日の日程は、議員関係及び市職員は、アンダーソン夫人の案内でサンマテオ市の主として施設見学、他の団員は職員とは別の市内見学である。そして11時頃には一旦サンマテオ市役所で合流し、市の公式訪問を行なうこととなった。

我々は午前9時頃アンダーソン夫人の車に乗り、施設見学に出かけた。

#### 1. 下水処理場

町はづれの埋立地であって、周囲には全く住宅は見られない広大なめぐまれた地域である。まず制禦室に入って大体の話を聞く。昨年の市長や企画部長の見聞記を読まれた方が多いと思われるので、詳細は省略するが、汚水の処理は豊中並の20P PM程の高級処理はされておられない。パイプによりサンフランシスコ湾の遙かの沖合に放流している状態である。我々の感心したのはスラッジの焼却炉であり、

70%の水分を含むスラッジを天然ガスにより焼却しているとのことであった。また敷地の奥の方には沈澱池がいくつかあったが現在は全く使用していない由である。なお大気汚染の原因となる悪い排気ガスは規準を下回っており心配はないとの事であった。人口が少ないこと、および汚水の高級処理をしていないことによるものと思われるが、制御室も小さく、非常にコンパクトで単純であるように見受けられた。



下水処理場の焼却炉

## 2. サンマテオ・カレッジ

市の西方の高台にある。見晴しの良い、広々とした敷地の美しい樹木と芝生の間に、極めて優雅な芸術的と言いたい位に見事な調和の取れた建物がゆったりと点在している。正にこの世の天国にある様な大学である。また設備も非常に良く、この大学に就職を希望する優秀な教授が多数いる



サンマテオ、カレッジにて、矢沢夫人と学生達

とのことであった。なお学生達の表情、動作は非常に明るく、のびのびとしており、活気に満ちていた。駐車スペースは充分あり、恐らく殆んどすべての学生がマイカーで来ているのではないと思われる。

## 3. アラゴン・ハイスクール

矢張り市の西方の高台にある。学校前に到着した時には、平家建の簡素な建物が見えただけで、案外小規模な学校のように思われた。副校長のアーチボルト氏の案内で校内の見学を行なった。

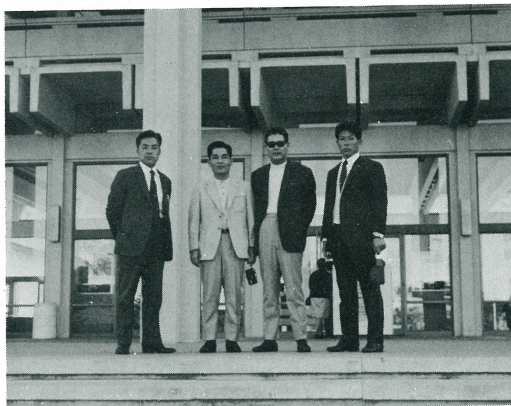
先ず最初は電子工学教室であったが、一見雑然とした感じであったが、計器・器具類が多くおかれ、実験している学生もあるかと思うと別のコーナーでは熱心に本を読んでいる学生もあるという状態であったが、学生達が自主性を持って各自熱心に勉強している感じであった。その他航空工学、自動車工学、金工、木工の教室を見て回った。敷地約4万坪、生徒数約2千人、授業料不要、学区制で全員入学できる。

## 4. 市役所公式訪問

市役所で他の団員と待ち合せ、11時30分頃から議事堂で公式訪問を行なった。

今日はサンマテオ市長コンドン氏が出席され、歓迎のご挨拶があり、市村団長から訪問の挨拶と感謝の辞が述べられ、竹内市長からのメッセージをコンドン市長に伝達した。続いてコンドン市長、マレー助役外カウンスルマン、ミューラー管理人に記念品を贈呈する。

終了後、市職員以外の団員は市内見学を続行し、団長および議員、市職員、松尾前議員、杉邨氏は、午前中に引き続いて、アンダーソン夫人の案内で施設見学をすることとなった。



サンマテオ市役所正面玄関にて、豊中市職員



サンマテオ市役所議事堂にて、左から村岡一三市議、サ市姉妹都市協会長  
カールJ・リー氏、コンドン市長、伊原富久雄市議、市村善次協会長

## 5. アンダーソン夫人宅

施設見学の途中アンダーソン夫人宅に立ち寄り、外人宅の内部の隅々まで見学させてもらった。広い応接に所狭しと並べられた置物、飾り物の豊富さに驚嘆し、またセントラル・ヒーティングのボイラーが2系統あること等が極めて印象的であった。

なお、案内の住友銀行サンマテオ支店の南氏によれば、低所得階層の家は土地共で約3万ドル、中流階層では大体4.5万ドルから5万ドル位だとのことである。

子供が独立し、停年が来ると自己所有の家屋と土地を売却し、3万ドルから5万ドルの金を手に入れて海外観光旅行に夫婦で出かけ、帰ってからはアパートとか組立ハウス、トレーラー等に入って質素な生活をするのが大体の平均的なアメリカ人の習慣であるとのことである。

## 6. ベイウッド小学校

木造で平家建、一部2階である。幼稚園では床のジュータンに20人位の子供が座り、先生の話を聞いたり、歌を歌ったりしていた。2年生、3年生の複式授業があるかと思うと別棟では英才教育があるという様に色々バラエティに富んでいる。教師は我々が見た範囲では全部が女性であり、中国系や黒人系の先生も見受けられた。また、10月中旬ですでに暖房が入っていた教室もあったことである。また、バスケットボールのコートが舗装されていたのも我々には珍らしく思われた。

なお、小・中学校はサンマテオ市の学校区の建設であり、

公立小学校25校、生徒数13,500人、1学級平均約27人位、教師の平均年俵は1万1千ドル位とのことである。

## 7. 加州住友銀行サンマテオ支店

住友銀行に立寄り、休憩した。午後4時を過ぎており、窓口の女子事務員に5ドル紙幣を小額硬貨に交換するように頼んだが拒絶された。支店長に頼んで特に交換してもらったが、勤務時間がはっきりしているのは当然の事ながら労働問題についての歴史的背景の強さを感じさせられた次第である。

## 8. ヒルスデール・ショッピングセンター

住友銀行もこのショッピングセンターの一角に位置している。なかなか広大なもので、百貨店、スーパーマーケット、個人専門店、レストラン等が町はずれに集まっており、その周囲に大きな駐車場スペースを持っている。サンマテオには他にも6ヶ所程もあり、人口約8万人、面積35.5km<sup>2</sup>の地方小都市でよくも購売力があるものだと感心させられる。スーパーマーケットの中のコーヒーショップで、ジュースを飲んだり、百貨店を歩きまわってフィルムを買ったり、ちょっとした買物やお金の使い方を練習する。

以上で今日の見学は終了し、アンダーソン夫人の車で、ホテルまで送ってもらう。朝出発する時には夫人の運転では大丈夫かと心配する者もあったが、なかなか上手な運転であった。競馬場の近くを通った時にはタケウチズ・レースといって説明してくれたが、豊中市長の競馬好きはサンマテオ市でもなかなか有名なようである。

## 9. 公式晩餐会

夜はブラック・アンガスというステーキ店で6時からカクテル・パーティ。7時から引き続いて姉妹都市協会主催の公式歓迎晩餐会に出席した。

カクテル・パーティは各自が飲物を注文し、代金を払い談笑しながらそれを飲むという形式であった。日系人やベレスフォードの父兄が、我々団員が飲物の注文の仕方が分からないのではないかと気を配って下さっていた。

晩餐会はジョン・湯本氏の司会で行なわれた。リー姉妹都市協会長、アンダーソン豊中委員会長の歓迎の辞、市村会長の挨拶があり、アンダーソン夫人、アンダーソン牧師、池田早苗氏、ジム中田氏に、姉妹都市の友好親善のため多年尽力された功績に酬いるための楯と感謝状を、またリー会長と湯本氏に記念品を贈呈した。

晩餐会では、1つのテーブルに我々団員3名、日系人3名、サンマテオ市民2名の計8人が座るようになっており、一応会話に不自由ないように配慮されていた。また3列のテーブルのうち中央の列はライオンズのメンバーが着席し、その末席の2つのテーブルにはベレスフォードバレーボールチームの少女達とその両親達が着席していた。

晩餐会は盛況のうちに進行し、談笑のうちに友好と親善を深めたが、開始が予定より遅れた上通訳つきのスピーチのため時間を要したためか、いつのまにか時間が経過し、スティルツ氏の豊中市のスライドが始ったのは、9時40分位となっていた。

スティルツ氏のスライドは、同氏が昨年の6月下旬来豊された際撮影されたものであったが、鮮明でカラーの美しいことは驚くばかりであった。なお、サンマテオ市のものも作製して豊中へ送りたいとのことであった。

以上により、姉妹都市訪問の公式日程は全部無事終了し、午後11時頃ホテルへ帰った。

そして翌日19日の朝、サンマテオ市を後にして、サンフランシスコへと向ったのである。

### 一最後に一

我々は今回の親善使節団に参加した貴重な体験を基礎として、今後豊中・サンマテオ両市の親善関係の促進に努力する覚悟である。

なお、43名という多数の参加者があり、しかも全員無事故で帰ることができたのは、全く団員全員の方々のご協力とご自覚、ご自重によるものと深く敬意を表するものである。

## ベレスフォード小学校女子

### バレーボールチーム来豊!!

庄内南小学校と姉妹校であるベレスフォード小学校より女子バレーボールチームが去る7月4日来豊しました。一行は団長ドン、カールソン氏に引率され、コーチはマニエル・チャカリアン氏、保護者4名、選手10名、総勢16名のかわいらしいバレーボールチームでした。

来日費用を調達するため、2、3年前より各方面の寄附を仰いだり、募金を集めたりしての念願の訪日でした。

来豊の日は丁度日曜日でしたが、市内ガールスカウト約20名が、府舎正面玄関で一行を迎え、花束を贈呈し交歓しました。



市役所で、ガールスカウトの歓迎をうけるベレスフォードチーム

そして宿舎の職員会館へ泊り、翌5日は、服部緑地、ニュータウンを見学、豊島公園プールでは、大いに水遊びを楽しみました。

6日は、午前中箕面の滝へ行き、猿が珍しいのか、大騒ぎでした。そんなところは、日本の子供と少しも変わりありませんでした。



猿とたわむれる一行

午後は、西丘小学校で、来日後はじめて、西丘小学校チームと対戦しましたが、地域ペニンシュラの常勝チャンピオンチームの実力を発揮し、3セットとも、ベレスフォードのストレート勝ちでした。

つづいて、ママさんチームと対戦しましたが、さすがにママさんチームは強く、2対1のセットでママさんチームが勝ちました。



西丘小学校チームと写真におさまる

7日は、折から東ドイツバレーボールチームが来日し、全日本チームと京都市立スポーツセンターで試合を行っていたのを、見学しました。

翌8日は、午前中は、宝塚で遊び、午後は、第5中学と試合を行ないました。ここにおいても、ベレスフォードチームは抜群の強さを示し、2年生チームとは、2セットストレート勝ち、3年生チームと対戦し、やっと2セットを第5中学チームが取って勝ちました。



第5中学校と対戦

9日は、午前中豊中駅前のニチイヤ、市場でショッピング

を楽しみ、午後は、第4中学校に赴き、前日と同じく、2、3年生チームと対戦しました。ここでも、ベレスフォードは、2セットのストレートで2年生に勝ち、3年生には、2セットを落し破れました。

夜は、市民会館で、歓迎及び送別パーティを姉妹都市協会主催で開きました。

市村会長、市長、下村助役、西尾副議長、中尾教育長等、協会役員及び市の幹部が出席し、かわいらしい親善使節を歓迎しました。

席上、市長より「下駄」の御土産をもらったメンバーの顔は、綻びばなしでした。

そのお返しに、一行は「Joy to the world」を合唱し、ヤンヤの喝采を博しました。

一行は、翌7月10日、十二分に親善の役をはたし、新幹線で離豊しました。

対戦を終って、日本チームと対照してみると、ベレスフォード選手の基本が出来ていること、派手な動きはしない



市長よりキャプテンに記念品の贈呈

が、無駄がないこと、バネのあるダイナミックな体格等に特徴が見られました。日本チームは、中学3年生でなければ勝てないという事実から、今後関係者は、小、中学生の体位の向上、スポーツに於ける基本の習熟等に大いに学ぶ可きところがあると思われます。

## 短 信

昭和46年4月12日 退職教師アリス・リーチ、マックイン・エリザベス両女史来豊。

服部緑地、千里ニュータウンを見学の後、京都へ。

4月14日～15日 サンマテオ市姉妹都市協会役員ジョン湯本氏東京で開かれた郵便百年記念祭へ切手を出品するために来日。豊中に2日間滞在し、本市協会員菊染いと女史を訪問。市内服部緑地、比叡山延暦寺、龍安寺、西芳寺を見学。下村助役及び事務局員と姉妹都市活動について懇談。

5月13日～23日 大学生キャシー東岡嬢来豊。下村助役宅に民泊。京都観世会館で能を見学する。

5月28日 本市協会員古沢信男氏令息照男氏観光及び建築工学視察のため、サンマテオ市を訪問。

6月20日～27日 サ市姉妹都市協会員で、アマチュア写真家であり、社交ダンスの先生で、ボーカリストでもある多芸多才のウィリヤム・シュテルツ氏が夫人と共に来豊。氏は昭和43年来豊し、今回は2度目である。今回の目的は、豊中市の風物を写真にとってスライドを作り、サンマテオ市民に豊中市を知らせることであった。このスライドは、10月に本市親善訪問団が彼地を訪れた際、歓迎パーティーの席上披露された。



市役所を訪れたシュテルツ夫妻と、下村助役、市村会長、下村隆子嬢

6月23日～ 大阪大学生四橋秀夫君他3大学生、夏休みを利用して、渡米。途中サンマテオ市を訪問し、市関係者の歓迎を受ける。コンドン市長の自家用飛行機に乗せてもらって感激した由。

6月29日 ジム中田氏来豊。

7月4日～7月10日 ベレスフォード小学生女子バレーボールチーム来豊。市内小学生、中学生、ママさんチームと好試合

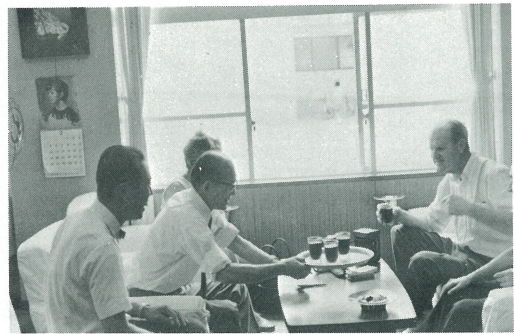
7月14日～ 龍谷大学生三好秀樹君2年間の子定でサンマテオ市周辺の大学で勉強するため渡米。

7月16日～8月9日 下村助役国際地方自治体連合(IULA)

1971年度国際会議に出席のため渡欧の往路サンマテオ市を訪問。今回は非公式訪問であったが、昭和40年について、第2回目のサンマテオ市訪問である。

8月初旬～中野寛成市議日本外務省により米国相互教育文化交流条約にもとづく派遣団の一員として渡米。-その際、サンマテオ市を訪問。

8月1日～2日 克明小学校と姉妹校であるノールズ小学校校長チャールズ・エヒターナハット氏夫妻が、バンコックのインターナショナル小学校長に赴任の途中来豊。克明小学校及び第8中学校を訪れ、両校の校長及び教頭と熱心に彼我の小中学教育について懇談。又、市役所を訪問し、竹内市長及び島岡企画部長等と交歓。なお、滞豊中中は、市内浅井正氏宅に民宿。



克明小学校で西川校長と懇談中のエヒターナハット氏夫妻

8月5日 サンマテオ市の大学生、ミス大黒嬢夏休みを利用しての来日中、市役所を訪問。姉妹都市事務局員と交歓。

8月9日～ サンマテオ市日系人会大岩ハマエ夫人来豊。姉妹都市協会員北村半次郎氏宅に民宿。協会員丹生隆雄氏、下村助役等旧知と旧交を温める。



万博跡地で大岩ハマエさんと北村半次郎氏

8月14日 姉妹都市協会員小谷孝子嬢サンマテオ市訪問。

10月17～25日 市制施行35周年記念サンマテオ市親善訪問団サンマテオ市を公式訪問。



一豊中サンマテオ姉妹都市協会役員名簿(昭和47年2月1日現在)一

名誉会長 竹内 義治(豊中市長)  
 会長 市村 善次(三国紡機社長)  
 顧問 秋山 一(豊中市議会議長)  
 副会長 広石 幸八郎(豊中ロータリクラブ会長)  
 副会長 堀 義光(豊中ライオンズクラブ会長)  
 副会長 山本 信男(豊中中央ライオンズクラブ会長)  
 会計理事 三ツ井 光輝(住友銀行豊中支店長)  
 会計理事 下村 輝雄(豊中市助役)  
 監事 藤間 常太郎(豊中市社会教育委員会会長)  
 監事 伊丹 啓次(サンマテオ訪問者)  
 常任理事 西尾 貫二(豊中市議会副議長)  
 " 中尾 儀夫(豊中市教育長)  
 " 喜田 嘉代(豊中市婦人団体連合協議会会長)  
 " 池上 真(豊中ボーイスカウトクラブ会長)  
 " 川村 勇二(大阪北YMCA主事)  
 " 瀬川 正一(豊中市体育連盟理事長)  
 " 榎田 昭(豊中市PTA連絡協議会会長)  
 " 奥田 正治(豊中市交通安全自動車協会会長)  
 " 岸田 行治(豊中市青年協議会会長)  
 " 福盛 佐一郎(サンマテオ訪問者)  
 " 四角 健一( " )  
 " 井伊 弘( " )  
 " 高坂 高土( " )  
 " 北村 半次郎( " )  
 " 岡野 武夫( " )  
 " 丹生 隆雄( " )  
 " 竹尾 宗和( " )  
 " 島田 哲志( " )  
 " 中川 種治郎(豊中防犯協議会会長)  
 " 鈴木 寅松(豊中商工会議所会頭)  
 " 小橋 潔(豊中ロータリークラブ幹事)  
 " 内山 正夫(豊中ライオンズクラブ幹事)  
 " 中島 輝弘(豊中中央ライオンズクラブ幹事)  
 " 藤井 広之(豊中商工会議所専務)  
 " 植田 高三(豊能エスペラント会会長)  
 " 平尾 敏夫(豊中市立小学校長会会長)  
 " 市崎 常臣(豊中市立中学校長会会長)  
 " 馬 渕 昌之(豊中市公民館長)  
 " 白瀬 長茂(豊中市図書館長)

一豊中サンマテオ姉妹都市協会会員名簿(昭和47年2月1日現在)一

〔個人会員〕一順不同  
 遠藤 寛治(梅花短大教授)  
 竹尾 宗和  
 森 彰男(豊中市役所)  
 菊 楽いと(琴師匠)  
 伊丹 啓次(自営)  
 北山 庄造(豊中商工会議所総務部長)  
 島田 哲志(松下電器勤務)  
 木村 弥策(大阪苦汁商工社長)  
 井伊 弘(桜塚小学校教諭)  
 岡野 武夫(豊中桜塚郵便局長)  
 市村 善次(三国紡機社長)  
 三ツ井 光輝(住友銀行豊中支店長)  
 島崎 貞子  
 鈴木 寅松(豊中商工会議所会頭)  
 中川 種治郎(弁護士)  
 植田 高三(会社役員)  
 四角 誠一(会社役員)  
 四角 健一  
 藤間 常太郎(関西大学教授)  
 内田 弘男(写真店経営)  
 高坂 高士(豊中市議会議員)  
 北村 半次郎(自営)  
 北村 悦子  
 奥田 正治(奥田組社長)  
 福盛 佐一郎(豊建商事社長)  
 中埜 就広(医師)  
 榎原 武雄(豊中市議会議員)  
 長岡 憲一(豊和信用組合理事長)  
 丹生 隆雄(丹生商店)  
 藤井 広之(豊中商工会議所専務)  
 秋山 一(豊中市議会議長)  
 西尾 貫二(豊中市議会副議長)  
 西田 秀景(豊中市議会議員)  
 棚田 正夫(常盤興産社長)  
 光久 与作(自営)  
 井原 富久雄(豊中市議会議員)  
 橋本 信明( " )  
 梶田 功(箕面市役所)  
 古沢 信男(船場産業社長)  
 村岡 一三(豊中市議会議員)  
 吉田 豊(白鹿足袋専務)  
 平井 秀代(豊中市衛生婦人奉仕会)  
 熊沢 新三(熊沢鉄工社長)  
 野々宮 英雄(豊栄産業社長)  
 瀬川 正一(庄内農協理事長)

吉田 鹿十郎 (白鹿足袋社長)  
 長門 綾子 (医師)  
 村司 悠峰 (華道師匠)  
 木村 実 (木村産業社長)  
 浅西 輝男 (互商産業専務)  
 古山 豊 (豊中市役所)  
 杉邨 房雄 (豊中新聞社長)  
 水野 耕作 (水野製作所社長)  
 矢沢 治八 (矢沢建築測量事務所長)  
 村尾 茂雄 (市立豊中病院医師)  
 土肥 源蔵 (東宅電器販売取締役)  
 小谷 孝子 (鐘淵化学K K)  
 高瀬 公子 (内田商店)  
 三好 実子 (三好電気)  
 西田 なお (豊中市衛生婦人奉仕会会長)  
 秋山 徹太郎 (秋山ランドリー社長)  
 中野 寛成 (豊中市議会議員)  
 白江 昭久 (豊中市役所)  
 松尾 止 (自営)  
 麻田 憲一 (泰和商事K K)  
 松森 真道 (豊中市消防本部)  
  
 竹内 義治 (豊中市長)  
 下村 輝雄 (豊中市助役)  
 武島 繁雄 ( " )  
 谷村 定治郎 (豊中市収入役)  
 中尾 儀夫 (豊中市教育長)  
 林 実 (豊中市水道局長)  
 竹田 重雄 (豊中市役所部課長会)  
 小林 正雄 ( " )  
 竹下 正人 ( " )  
 弘田 守 ( " )  
 岸岡 洋一郎 ( " )  
 島田 実 ( " )  
 峰岸 郁夫 ( " )  
 永見 英次 ( " )  
 石田 清治 ( " )  
 田中 健三 ( " )  
 高田 正雄 ( " )  
 島岡 三郎 ( " )  
 佐々木 礼二 ( " )  
 北村 伊三美 ( " )  
 杉本 杖一 ( " )  
 鈴木 鹿平和 ( " )  
 布施野 旻 ( " )  
 山田 拾満 ( " )  
 向本 巖 ( " )  
 湊 正雄 ( " )  
 小山 貞夫 ( " )

平岡 富夫 ( " )  
 滝口 俊則 ( " )  
 猪岡 昌夫 ( " )  
 斉藤 陽 ( " )  
 楠元 義親 ( " )  
 田中 翠 ( " )  
 笹部 貞良 ( " )  
 阪本 保 ( " )  
 元田 一良 ( " )  
 前西 弘見 ( " )  
 前田 達夫 ( " )  
 山根 匡雄 ( " )  
 乾 儀一 ( " )  
 田淵 宏 ( " )  
 西沢 義文 ( " )  
 水道 勉 ( " )  
 山田 忠和 ( " )  
 宮後 武夫 ( " )  
 橋本 秀一 ( " )  
 長谷川 由男 ( " )  
 重本 和夫 ( " )  
 高須 京一 ( " )  
 吉川 吉雄 ( " )  
 山本 富男 ( " )  
 笹部 俊彦 ( " )  
 鈴木 外彦 ( " )  
 山田 光雄 ( " )  
 三野 胖 ( " )  
 寺田 知司 ( " )  
 上田 寿春 ( " )  
 吉田 靖夫 ( " )  
 矢部 隆夫 ( " )  
 芝谷 正昭 ( " )  
 藤原 初太郎 ( " )  
 山田 晨茨 ( " )  
 笹部 俊一 ( " )  
 内田 敏治 ( " )  
 澁谷 四郎 ( " )  
 北之坊 正保 ( " )  
 吉岡 等 ( " )  
 松尾 多市 ( " )  
 山下 博義 ( " )  
 杉本 一二三 ( " )  
 野間 慶藏 ( " )  
 山田 俊夫 ( " )  
 平岡 清治 ( " )  
 宇野 尚一 ( " )  
 村上 直昭 ( " )  
 竹中 正治 ( " )

齊藤四郎	(	"	)
桜河内士朗	(	"	)
湯元英世	(	"	)
湯浅清美	(	"	)
南田弘	(	"	)
筒井武雄	(	"	)
野口豊次	(	"	)
松波邦三郎	(	"	)
白瀬長茂	(	"	)
馬淵昌之	(	"	)
伊東文男	(	"	)
西畑一男	(	"	)
山村勲	(	"	)
岩井義雄	(	"	)
野村真人	(	"	)
山本俊治	(	"	)
太田覚	(	"	)
安井五郎	(	"	)
今西渡	(	"	)
橋本辰弥	(	"	)
田中伊作	(	"	)
松浦勇	(	"	)
武田松雄	(	"	)
長浜利行	(	"	)
鶴岡勝	(	"	)
永島亮二	(	"	)
野土繁雄	(	"	)
奥畑章郎	(	"	)
芦田栄二	(	"	)
井上一郎	(	"	)
中津勝美	(	"	)
川俣秀夫	(	"	)
山田清一	(	"	)
高橋政治	(	"	)
梶田栄二	(	"	)
下倉史郎	(	"	)

個人会員 計178名

〔法人会員〕

法人名	代表者氏名
豊中市医師会	内田三郎
住友銀行豊中支店	三ツ井光輝
大和銀行 "	高橋利治
池田銀行服部支店	永原雄平
三和銀行豊中支店	木村文夫
〔学校・団体会員〕	
名称	代表者名
豊中身体障害者福祉会	金沢徳芳

豊中市衛生婦人奉仕会	西田なお
" 母子福祉会	谷戸キノ
豊中商工会議所	鈴木寅松
豊中市婦人団体連絡協議会	喜田嘉代
豊中ボーイスカウトクラブ	池上真
豊中ワイズメンズクラブ	水野忠
大阪北YMCA	川村勇二
金蘭会学園	佐藤一男
豊中ライオンズクラブ	堀義光
豊中中央ライオンズクラブ	山本信男
豊中ロータリクラブ	大原正蔵
豊中南ロータリークラブ	岩崎茂雄
豊中南ライオンズクラブ	荒川永太郎
豊中青年会議所	向田峰生
豊中市青年協議会	岸田行治
豊中ガールスカウトクラブ	矢代和代

編集後記

昭和38年10月8日にサンマテオ市と姉妹都市提携以来、満8年、提携事業がますます盛んになって来ております事は、役員、会員、本市区議会、市理事者、市民各位の御協力のおかげと、事務局職員一同、深く感謝しております。

御存知のとおり、姉妹都市提携事業というものは、両市が積極的に人的、物的、文化的交流を行なわなければ、いわば開店休業の形になりがちなものであります。

現在、全国で133市町村が世界各国の都市と姉妹都市の契りを結んでおり、それぞれの活動を行ない、世界の平和のために努力しているのであります。我国と政治的、文化的、社会的に特に関係の深いアメリカのサンマテオ市と姉妹都市提携をしている豊中市としては、両国のきずなを深めるための責務は大なりといわねばなりません。

特に、現今のごとく、政治的、経済的に米国との関係が戦後最悪の状態にあるといわれる時期において、政治色を抜きにした民間外交たる姉妹都市提携事業は、その緊張緩和に大いに役立つものと考えます。

この8年間、多くのサンマテオ市民がおとづれ、又、豊中からも、彼地を訪問しました。特に、昨年は、ベレスフォードチームが来豊し、市内小中学生と交歓し、現在彼等の間で、自由に文通しているように聞いております。

又、昨10月には、43名の訪問団がサンマテオ市を訪れ、両国の政治的、経済的緊張など何ら関係なく、大いに親善の実をあげたのであります。

来年度は、英語弁論大会、英会話講座、ペンパル紹介活動、その他、市民多くを対象にした各種事業を各位の御賛同を得て、行なって行きたいと考えております。

今後共、事務局職員を叱咤勉励下さい、姉妹都市提携事業がますます発展するよう御協力下さいませよう、お願いします。

【会員募集】	個人会員 (入会金 500円 会費年額 1,000円)	学校・団体会員 (入会金 1,000円 会費年額 2,000円)	法人会員 (入会金 5,000円 会費年額 10,000円)
--------	--------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------